

平成18年8月3日
シロキ工業株式会社

シロキ中国生産拠点の能力増強
広州白木自動車零部件有限公司の第2工場増設について
日系自動車メーカーの生産増に対応し、生産体制強化

シロキ工業株式会社（本社・愛知県豊川市 社長・伊地知舜一郎 以下「シロキ工業」）は、中国における日系自動車メーカーの生産増などに対応するため、現地生産子会社の広州白木自動車零部件有限公司（本社・広州市広州経済開発区永和区 総経理・吉田博光 以下「広州白木」）の第2工場増設を決定した。第2工場は、広州白木の本社工場の敷地内に建設するもので、延床面積は9,200平米。今年11月より建設工事に着手し、07年12月に稼働を開始する。同工場では、ウインドレギュレータ（窓昇降装置）や外装部品のモールディングなどを生産する。投資額は3億5,000万円を予定。

広州白木は、昨年末より生産能力増強に取り組み、現状操業当初の2倍以上の生産能力となったものの、フル生産状態で、新規受注品の生産スペースもなくなっており、中国市場の動向を慎重に視野に入れながら、第1工場だけでは今後の得意先日系自動車メーカーの生産増と新規の受注に対応ができなくなると判断し、今回第2工場増設を決定した。第2工場増設により生産体制を強化し、得意先日系自動車メーカーの生産増と新規受注に対応するとともに、生産の効率化を進め、中国事業の強化をはかる。

広州白木では、昨年末600トンプレス機など10台を導入したプレス工場を新設し、今年3月よりドアサッシとウインドレギュレータのプレスから組み立てまでの一貫生産を開始したほか、トヨタ自動車（株）の現地合弁会社の広州豊田汽車有限公司の生産開始に伴う、ドアサッシやモールディングの増産とウインドレギュレータの新規生産のための生産ライン新增設など、生産能力の増強に取り組んでいた。

同社は、昨年4月に操業を開始し日産自動車（株）の現地合弁会社の東風汽車有限公司向けにドアサッシやモールディングなどを生産。今年5月からは広州豊田汽車有限

公司向けにドアサッシやモールディング、ウインドレギュレータなどの生産を始めた。操業開始初年度の昨期（平成18年3月期）の売上高は4億6,800万円、従業員203名で、今期（平成19年3月期）は21億円(前期比4.5倍)の売上高を予想。シロキの海外生産拠点は、中国の広州白木のほか、北米3工場（SW マニユファクチャリング、SWM ジョージア、SWM GT）とタイのシロキタイランドの5拠点。平成18年3月期の海外売上は290億2千万円で、海外売上比率は23.6%。

広州白木自動車零部件有限公司の概要

所在地 : 広州市広州経済開発区永和区賢堂路2号
資本金 : 1,100万米ドル
(シロキ工業95%、メタルワン5%)
総経理 : 吉田 博光
従業員数 : 203名
生産品目 : ドアサッシ(自動車用窓枠)
モールディング(自動車用外装部品)
ウインドレギュレータ(自動車用窓昇降装置)他
敷地面積 : 53,000平米
延床面積 : 本社工場 8,400平米、プレス工場 1,500平米
生産能力 : ドアサッシ 10万個/月
モールディング 10万個/月
ウインドレギュレータ 4万個/月

広州白木第2工場の概要

延床面積 : 9,200平米
建設地 : 広州白木本社工場敷地内
投資額 : 3億5,000万円(設備除く)
工事期間 : 施工開始 06年11月、
工場完成 07年6月、生産準備開始
稼動開始時期 : 07年12月
生産品目 : ウインドレギュレータ、モールディング他

以上

この件のお問い合わせ先

シロキ工業株式会社

0533(84)4691

総務部 広報担当 眞野 成人